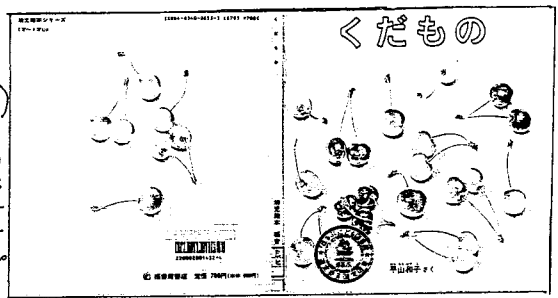


子どもたちといっしょに

「くだもの」 平山和子さく(福音館書店)

すいか...の負にはまるごとのすいかの絵。さあどうぞ...と負をくると、お皿の上には、切ったすいかののこりがあります。とてもおいしそうです。かぶりつきた



くなりす。もも、さあどうぞ。ぶどう、さあどうぞ。と続きます。女の子どもたちは、もう夢中で、もぐもぐはしゃ動かして、食べるまねをします。読み終ると、「あ、おいしかった!」という声がきこえた時は、子どもってすごいなあ、と感激してしまいました。

平山和子さんのこのほかの絵本に「わんわん」「おにぎり」「たんぽぽ」「いちご」「やよい」「まめ」があります。まるで写真のように、見事にリアルに描かれています。お子さんと一緒に、お楽しみください。おと存ぶも、おもしろ、ごくりと、つぼを飲み込んでしまいます。



第19回読書会

「ともしびをかかげて」(若波書店)

ローズマリ・サトクリフ作 猪熊菜子訳

5月19日(日)13:30~3:30

於:白根学習館 ルーム2 (しろね図書館・しろね図書館友の会共催)

特におすすめします。この読書会!!

ローズマリ・サトクリフの動物言語の運び方は、たくみです。どんどん魅きつけられて、時間を忘れて読みすすんでしまいます。

その他「太陽の戦士」「運命の騎士」「第九軍団のワシ」「王のほし」「金君の杖」があります。カウンターまでどうぞ。

5月の行事		ブックバス予定		
1 (水)	絵本のじかん 3:00~	大宮小 2:20~3:40	17 (金)	白根小 1:50~2:50
2 (木)		榑岸小 4:10~4:40	18 (土)	小坂小 2:30~3:30
4 (土)	おはなし会 3:00~	大宮小 3:00~3:45		新飯田小 2:30~3:00
8 (水)	絵本のじかん 2:00~	白根北中 4:00~4:40	19 (日)	戸石公 3:30~4:00
9 (木)			22 (水)	新飯田小中 2:55~1:40
10 (金)			23 (木)	新飯田小 2:10~4:00
11 (土)	おはなし会 10:00	新飯田小中 12:55~1:40	24 (金)	左津中 12:55~1:35
15 (土)	おはなし会 3:00	茨倉小 2:10~4:00	25 (土)	左津中 C 2:00~2:40
16 (木)	絵本のじかん 3:00~	左津中 12:55~1:35	29 (水)	左津中 3:00~3:45
		左津地 C 2:00~2:40	30 (木)	
		左津小 3:00~3:45		
		臼井中 1:00~2:00		
		臼井小 2:30~3:15		
		大宮地 C 2:00~2:30		
		大宮地 C 2:50~3:20		
		榑岸小 3:40~4:10		
		大宮小 2:20~3:40		
		榑岸小 4:10~4:40		
		大宮小 3:00~3:45		
		白根北中 4:00~4:40		

しろね図書館だより

発行 白根市立図書館
No. 24
平成14年5月1日

ご利用ありがとうございます。爽やかな季節となりました。田んぼにも水が入り、蛙の鳴声もきこえ始め、あという間に、初夏になりそうな気配です。よい季節です。たくさんのお本と出合ってください。

4月の
来館者 --- 10,764人
貸出冊数 --- 11,715冊
予約件数 --- 170件
ブックバス利用者 --- 280人
貸出冊数 --- 809冊

リクエスト情報(しばらくお待ちください)
1位・ハリポッターと秘密の部屋(19人)
2位・ハリポッターと驍若の石(15人)
3位・4と4半の神隠し(14人)
4位・ハリポッターとアズカバンの囚人(7人)
5位・猛スピードで母は(2人)
あかね壱(2人)
あかね文(2人)
きりりゅうのありがみ(2人)
指輪物語(2人)

お知らせ

4月23日の「子ども読書の月」を記念して、「子どもの読書活動推進実践図書館」として、白根市立図書館が表彰され、「文部科学大臣賞」をいただきました。ご利用者の皆さまを初めとして、ボランティアの皆さま、しろね図書館友の会の皆さま、応援してくださっているたくさんの方々のおかげと、ここに感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございます。これからもよろしく、お楽しみ申しあげます。

あかちゃんの頃から「ともしび」を、読んであげてください。どこのご家庭でも、あかちゃんが生まれると、話しかけたり、あやしたり、それはそれは、ほほえましい光景が見られます。それと同じように、毎日、あかちゃんに、「ともしび」を、読んであげてください。あたたかい聲がこもった周りの人たちの声は、あかちゃんの心のなかにも、愛の火を灯します。どんな「ともしび」を選んだらよいか、とお迷いの時は、図書館員に、ご相談ください。

アカちゃん、スキエホン、コックリ、アサギ、オウゴン、セテ、セテ、イナイ、イバ、アサギ、オフロ、ダイスキ、タテ

ひとの輪をつくる
 独習CD-ROMパソコンゆうゆう塾
 読書運動とともに
 中年よ、大志を抱こう！
 無量寿経講話
 沖縄の歴史と旅
 おまつと利家
 ブルーアトラス 増補新訂第3版
 仙台・山形・会津 第3改訂版
 東北 第3改訂版
 富士・静岡 第3改訂版
 倉敷・岡山・高松 第3改訂版
 松江・鳥取 第3改訂版
 石垣・竹富・西表島&那覇
 アジアほどほど旅行
 ソウル 改訂版
 グラム 第3改訂版
 これ、ニセ札でしょ！
 イギリス人は理想がお好き
 誓国の視座
 新世紀へようこそ
 日本の論点
 浅間山荘事件の真実
 ケースブック情報公開法
 人権保障としての成年後見制度
 海の彼方の国へ
 老後は誰と暮らしたい？
 性の倫理学
 老いかた上手
 灘中の数学学習法
 忘れていませんか子育てで大切なことを
 可愛がるから愛するへ
 ナバホへの旅たましの風景
 ワンダース・オブ・ナンパズ-数の不思議-
 数学が好きになる七つの話
 おもしろ物理雑学 頭のククリ篇
 おもしろ物理雑学 目からウロコ篇
 お天気用語事典
 牧野植物随筆 大文字版
 小児科医がやさしく教える赤ちゃん・子ども
 簡単！食品カロリー早わかりBOOK
 私の選んだ一品
 パン

荒川 じんべい|著
 デジタルメディア編集部|編
 代田昇 遺稿 追悼編集委員会|編
 堀田 力|著
 増谷 文雄|著
 陳 舜臣|著
 前田 利祐[ほか]|著
 ブルーガイドニッポン編集部|編
 ブルーガイドニッポン編集部|編
 ブルーガイドニッポン編集部|編
 ブルーガイドニッポン編集部|編
 ブルーガイドニッポン編集部|編
 下川 裕治|著
 ブルーガイド海外版出版部|編
 ブルーガイド海外版出版部|編
 浅井 裕理|著
 緑 ゆうこ|著
 誓国の視座編集委員会|編
 池澤 夏樹|著
 文藝春秋|編
 久能 靖|著
 宇賀 克也|著
 更田 義彦|著
 呉 善花|著
 門野 晴子|著
 伏見 憲朝|著
 吉沢 久子|著
 庄 義和|著
 品川 孝子|著
 浜尾 実|著
 河合 隼雄|著
 クリフ オード A. ピックオーバ
 船山 良三|著
 クリストファー P. ヤルゴスキ
 クリストファー P. ヤルゴスキ
 穂村 曜|著
 牧野 富太郎|著
 川村 和久|著
 吉田 美香|著
 日本産業デザイン振興会|編
 片岡 美佐子|著

岩波書店
 集英社
 ポプラ社
 P H P 研究所
 講談社
 P H P 研究所
 集英社
 平凡社
 実業之日本社
 実業之日本社
 実業之日本社
 実業之日本社
 実業之日本社
 徳間書店
 実業之日本社
 都築事務所
 紀伊国屋書店
 毎日新聞社
 光文社
 文藝春秋
 河出書房新社
 有斐閣
 一橋出版
 P H P 研究所
 大和書房
 朝日新聞社
 経済界
 日本放送出版協会
 企画室
 祥伝社
 朝日新聞社出版局
 主婦の友社
 美教出版
 主婦と生活社
 主婦の友社
 新星出版社
 講談社
 P H P 研究所
 主婦の友社
 日本産業デザイン振興会
 農山漁村文化協会

＝図書館員がすすめるこの一冊＝

「片手いっぱいの星」☆☆☆☆

ラフィク=シャミ作 若林ひとみ訳 (岩波書店)

二人の子どもに言った。「ずっと後にわたしがいなくなって、困ったことや、辛いことがあった時、この本を読み返して」と。そして、一冊ずつこの本を、プレゼントした。あれから何年経っただろう。子どもたちの本棚には、ちゃんとこの本がある。この間帰阪した時、「あるわねこの本、わたしの遺書がわりの本」と思わずつぶやくと、「えっ！」と、子どもたちが顔を見合わせた。

「そうなん？」と息子。「そう、そだよね」それだけで、会話は終わった。いが溢れていたに違いない。



というわけで、本のススメ魔のどとっていいほど、薦めまくった日記形式で物語は進んでい穏な社会状況の中で、貧しいけれども、素晴らしいおと正常な目を培っていく。子どもに直にとらえ、真摯に生きていく事になって人を愛し、生きとし生ける全てのものを愛し、平和に生きていける基礎を作ることだ。幸せ感をもって生きることでのおとなは、魅力的だから。

人は、一人ひとりが孤独であり、その孤独をどこで埋め、人を愛することが孤独との決別であるという事。社会について考え、良くしていく事の意義と行動する勇気の大切さ。を「ぼく」は、学んでいくのである。今、この本は特に大切に、たくさんの人に読んでいただきたいと思っている。(児童943シ) (館長 栗村 節子)

第十八回 読書会

平成十四年四月二十六日(日)

「五体不満足」乙武洋匡(講談社)

おだやかな昼さがり窓から見える遠くは山雪も
 だいぶ少なくなりました。七名参加の読書会でした。

宙 「では、始めましょう！理香さんからどうぞ」
 理香 「この人の両親がすごいと思いました。とても私にはできないこと。本人も素晴らしい人です。全然、自分の状況を苦にしていなければかりか人よりもより強いので、感心しました。」
 優 「以前に一度読んでみましたが、精神力がすごいと思う。想像を絶する所もあり見た目より精神的な強さに感動しました。」

みなみ「今まで二回読んで、この人のやっていたことが、やんちゃ坊主で面白かった」
 信子「私はヘルパーをやっています。その体験とこれを読んで、今初めて読みました。あの頃、バリアフリーという言葉はまだ生まれていない。作者が障害者と意識せずにこられたのは、両親が『この子が可哀想』という気を起こさなかったところで、すごいですよ。また、この子のために二回も引越してありますね。障害者が、住みよい社会になるために自分の生き方を見つけたと思う」

辰也「発売当時、この本を見た時、『五体不満足』というこの書名に、まず、すごい印象を持った。表紙の写真に、次には驚き、読んでみると益々すごいと思った。以前働いていた図書館では、予約者が120名も待っていた。知り合いで、福井県三方町立図書館に、車椅子の司書河原正実という人がいるが、この人も、広くて深い人格者なのです。彼は『障害者』というものは、特別に意識することは無い。図書館だとして、普通の人に使い易い図書館は、障害者にとっても使い易い図書館なのだ』といつも言っている。この作者の両親も、普通の事としてとらえている。作者の最近作『ぼんね』を読むと、もっと理解できる。健常者が勇気をもらせる本だ」

宙 「さつき読み終わりました。早稲田のまちづくりあたりから、興味が深かった。どうも自分が斜めに見してしまうところがありますが、一つの素晴らしい言葉を発見しました。(早稲田商店会々々長語録から)『行政参加』という言葉。これはすごいと思った。市民の企画したことに行政が参加するんだから。」

この後も、時々、軌道をそれたりしながらいろいろな会話がはずんだ。
 過去最高のベストセラー本、またの方は、こ一読を。

